

令和元年度

# 事業報告書

自：平成31年4月1日

至：令和02年3月31日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

# 目 次

I	事業概要	1
II	事業の実施状況	1
	1 助成事業（公1事業）	1
	（1）研究助成事業	1
	（2）シンポジウム開催等助成事業	1
	（3）奨学助成事業	2
	2 情報収集、提供（公3事業）	2
	（1）ホームページによる情報提供	2
	（2）研究成果報告書の発刊	2
	3 調査研究事業（公2事業、収益事業）	3
	（1）研究機関等からの受託事業	3
III	管理運営業務	3
	1 会議の開催	3
	2 令和元年度主要業務	3
IV	組 織	3
V	付属証明書	3
(資料)		
	別紙1 平成元年度（第26回）研究助成金交付対象者	・・・ 4
	別紙2 令和2年度（第27回）研究助成金交付対象者	・・・ 6
	別紙3 平成元年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	・・・ 8
	別紙4 令和2年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	・・・ 9
	別紙5 公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ コンテンツ	・・・ 10
	別紙6 令和元年度主要事業記録	・・・ 11
	別紙7 組織	・・・ 12

# 令和元年度 事業報告書

## I 事業概要

令和元年度の助成事業については、平成30年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、東南アジアから日本への留学及び日本の研究者の海外への留学に係る奨学助成事業を実施した。

情報提供事業については、食品添加物その他食品化学に関する情報の収集とホームページ上での情報提供を平成30年度に引き続き実施した。

調査研究事業については、公的・民間からの受託事業として、日本に新たに申請する添加物の安全性調査事業を受託した。

## II 事業の実施状況

### 1 助成事業（公1事業）

#### (1) 研究助成事業

##### 1) 令和元年度研究助成

平成31年3月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象者28件に対して、同年5月、研究助成金（総額2,180万円）を交付した。  
（交付対象者及び助成額は「別紙1」のとおり）

##### 2) 令和2年度研究助成選考

###### ① 募集公告

令和元年9月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある専門誌（日本食品化学学会誌等9誌）及び関係学会（日本食品化学学会等11学会）のホームページに同募集公告の掲載を依頼すると共に、元年10月本財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

###### ② 研究課題

平成30年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）とに分けて助成申請の募集を行った。

###### ③ 申請受付

令和元年11月15日～令和2年1月15日の2か月間、助成申請を募集し、56件（一般研究32件、課題研究24件）の申請を受理した。

###### ④ 選考委員会審査

令和2年3月10日開催の第23回選考委員会において審査を行い、一般研究17件、課題研究10件の助成対象候補を決定した。

###### ⑤ 理事会決定

令和2年3月17日開催の第42回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、27件（総額2,200万円）の研究助成金交付を決定した。  
（交付対象者及び助成額は「別紙2」のとおり）

#### (2) シンポジウム開催等助成事業

##### 1) 令和元年度前期（平成31年4月～令和元年9月）

令和元年度研究助成と並行して、前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、平成31年4月、2件に助成金（総額125万円）を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

2) 令和元年度後期(令和元年10月～令和2年3月)

令和元年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。

令和元年7月1日～31日の1か月間募集を行い、令和元年8月30日開催の第21回選考委員会で選考を行い、9月13日開催の第39回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、4件に助成金(総額125万円)を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

3) 令和2年度前期(令和2年4月～9月)

令和2年度研究助成と並行して、令和2年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、2件(100万円)の助成を決定した。

(交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり)

(3) 奨学助成事業

1) 令和元年度

令和元年度は、平成28年度の交付開始から4年目となる。

令和元年度は、平成30年度において助成決定された海外からの日本への留学生1名について助成(総額80万円)を行った。

2) 令和2年度

令和元年9月15日～10月31日の1か月半の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係団体ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行った。

その結果、海外から日本への留学生1名及び日本から海外への留学生1名の申請があった。

12月10日に開催された第22回選考委員会で審査のうえ、助成候補者を決定した。

選考委員会が選考した助成対象候補者について、12月25日開催の第40回臨時理事会で審議を行い、申請者2名に対する助成(総額230万円)を決定した。

2 情報提供事業(公3事業)

(1) ホームページによる情報提供(<https://www.ffcr.or.jp/>)

平成30年度から全面更新を行った新ホームページをより利用しやすいホームページにするため、令和元年度も随時より利用しやすいホームページへの改良を行い情報の更新や、内容の充実を図った。

掲載情報の内容については、「別紙5」のとおりである。

(2) 研究成果報告書の発刊

平成30年度の研究助成者から提出された研究報告書を取りまとめた「公益財団法人日本食品化学研究振興財団 第25回研究成果報告書」を、令和元年12月25日刊行し、当該研究者をはじめ、厚生労働省及び附属研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

### 3 調査研究事業（公2事業・収益事業）

#### (1) 受託事業

公的研究所より委託を受け、新規2食品添加物について、安全性に関する調査を行い、報告書を取りまとめた。

### III 管理運営業務

- 1 会議の開催
  - ・理事会 6回（定時理事会2回、臨時理事会4回）
  - ・評議員会 1回（定時評議員会1回）
  - ・選考委員会 3回

#### 2 令和元年度主要事業

令和元年度の主要事業については、「別紙6 令和元年度主要事業記録」のとおりである。

### IV 組織

令和元年度末における本財団の組織については、「別紙7」のとおりである。

### V 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

## 令和元年度（第26回） 研究助成金交付対象者

## 1：一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
国立医薬品食品衛生研究所有機化学部 部長 出水 庸介	既存添加物の定量用標品および内部標準物質の合成に関する研究	60
愛媛大学理学部化学科 教授 長岡 伸一	食品における酸化防止剤の能力を評価する方法の実用化に向けた発展研究	60
九州大学大学院薬学研究院生薬学分野 助教 坂元 政一	バイオインプリンティング技術を用いたグリチルリチンのハイスループット分析法の開発 ～日本薬局方規格基準の甘草の育種研究に向けて～	60
立命館大学薬学部臨床分析化学研究室 准教授 井之上 浩一	毒キノコ成分のプロファイリングと化学分析のための標準品作製	110
国立医薬品食品衛生研究所食品部 部長 穉山 浩	新規誘導体化試薬「Py-Tag」を用いた魚および水産加工品中の不揮発性アミン類分析法の開発	120
大阪大学薬学研究科毒性学分野 名誉教授 堤 康央	食品・食品添加物の品質保証に関する薬学研究教育の実態調査	90
岐阜大学大学院連合農学研究科 博士課程 兼 学術研究員 山下 寛人	茶樹の遺伝資源を利用したテアニン増強育種法および生産技術の開発	70
東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科 准助教 岩槻 健	新規サル消化管オルガノイドを用いた食品添加物が消化管上皮に与える影響の解析	120
名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授 廣明 秀一	植物由来アントシアニン系色素の腸管タイトジャンクションに対する影響	60
三重大学大学院生物資源学研究科 准教授 柴田 敏行	新規エキソ型アルギン酸リアーゼを活用した新しいアルギン酸定量法の開発	90
大阪大学総合学術博物館資料基礎研究系 特任助教 高浦 佳代子	安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ:アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	60
奈良女子大学研究院生活環境科学系生活健康学領域 教授 森本 恵子	甘味料（グルコース、スクラロース）の脂肪嗜好性調節作用の検討とその機序の解明	120
北海道大学大学院農学研究院細胞組織生物学的研究室 准教授 小林 謙	妊娠期における非糖質系甘味料の摂取が乳腺発達と分娩後の乳産生に及ぼす影響	90
京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻 准教授 井上 善晴	食品添加物ε-ポリ-L-リジンの抗真菌活性発現に関わる新しいシグナル伝達経路の解明とアクチン細胞骨格に及ぼす影響	120
北海道大学大学院水産科学研究院教授 細川 雅史	食品添加物カロテノイドによる炎症抑制作用と慢性腎症予防効果に関する研究	60
筑波大学医学医療系分子発生生物学教室 講師 小林 麻己人	各種食用天然色素がもつNrf2活性化能と機能性・安全性の動物モデルを用いた測定比較	60

東京電機大学理工学部生命科学系 准教授 武政 誠	食品多糖類による食品3Dプリンタ用フードインクの力学特性改質と造形精度向上	80
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 教授 松浪 勝義	天然由来食品添加物のゼブラフィッシュを用いた安全性評価	60

一般研究 18件 1,490万円

## 2：課題研究

### 2-1 食品添加物の体内動態及び生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 伊東 秀之	抗糖化作用を有するエラジタンニンの生体利用性に関する研究	90
日本医科大学微生物学・免疫学教室 講師 若林 あや子	ミョウバンによる腸管上皮損傷に伴う炎症・アレルギー誘導性損傷関連分子の放出の解析と免疫学的安全性評価の検討	80
島根大学医学部免疫学講座 講師 小谷 仁司	抗癌剤治療時におけるアルギニン摂取の重要性検証と体内動態・組織分布評価	60

### 2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物及び食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京農工大学大学院工学研究院生体機能科学部門 助教 福谷 洋介	哺乳類嗅覚応答システムを模倣したフレーバー客観的評価技術開発	60
東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター 助教 大田 昌樹	常温付近の温度帯を用いる新しい香気成分の分離装置の開発	80
九州大学大学院理学研究院化学部門 准教授 村山 美乃	熟成古酒からの劣化臭除去に向けた金ナノ粒子の吸着特性の解明	80

### 2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻 教授 原 正之	高齢者に適した食品用ハイドロゲルの研究	60
武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学科 助教 中村 衣里	大豆タンパク質にアミノ酸栄養強化剤を添加した高齢者・病者向けプロテイン飲料の開発	60
高知大学教育研究部自然科学系 教授 河野 俊夫	セルロースを活用した高齢糖尿病患者向け新食感和菓子に関する研究	60

### 2-6 食品化学分野における代替タンパク質(Alternative Protein)の特性、機能、安全性等の研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
宮城大学食産業学部フードビジネス学科 教授 金内 誠	小麦グルテンの代用とする疎水タンパク質ハイドロフォビンの食品応用について～起泡性を利用した製パンへの応用～	60

課題研究 10件 690万円  
合計 28件 2,180万円

## 令和2年度(第27回) 研究助成金交付対象者

## 1:一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学 岡村 拓郎	トランス脂肪酸の腸-肝連関を介した2型糖尿病発症機構の解明 -統合オミクス解析を用いて-	70
愛媛大学理学部 教授 長岡 伸一	食品における酸化防止剤の能力を評価する方法の実用化に向けた発展研究	70
公立小松大学保健医療学部 教授 平山 順	食品添加物クルクミンによる体内時計の調節機構の解明	70
九州大学大学院医学研究院 助教 今井 啓之	既存食品添加用色素を用いた胚移植の操作性及び視認性の向上	70
北海道医療大学薬学部 准教授 寺崎 将	フコキサンチン添加ビスケットによるマウス大腸腫瘍微小環境抑制制御機構の解明	90
東京農業大学応用生物科学部 准教授 岩槻 健	新規サル消化管オルガノイドを用いた食品添加物が消化管上皮に与える影響の解析	90
国立医薬品食品衛生研究所食品部 主任研究官 鍋師 裕美	食品中のアクリルアミド生成の低減化を目指した調理加工条件に関する研究	80
中部大学応用生物科学部 教授 堤内 要	固体NMRを用いたクチナシ青色素の構造解析	110
有明工業高等専門学校創造工学科 講師 内田 雅也	メダカ非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)モデルを用いた食品由来PPARリガンド成分と治療薬の同時摂取による効果の評価	70
国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部 研究員 西崎 雄三	qNMR外部標準法によるアントシアニンの定量分析値の信頼性の向上	80
京都大学大学院生命科学研究所 准教授 増田 誠司	食品添加物として使用されるフラボノイドによる選択的スプライシング制御機構の解明	70
三重大学大学院生物資源学研究所 准教授 柴田 敏行	新規エキソ型アルギン酸リアーゼを活用した新しいアルギン酸定量法の開発	60
広島大学大学院総合生命科学研究所 准教授 矢中 規之	グリセロホスホコリンの吸収、および体内代謝に関する解析	70
京都大学大学院農学研究科 准教授 井上 善晴	食品添加物 $\epsilon$ -ポリ-L-リジンの細胞周期阻害による抗真菌活性発現機構の解明	70
神戸学院大学薬学部 助教 小野寺 章	人工甘味料が免疫組織・免疫細胞の機能に与える質的量的影響の解明	90
東京農業大学応用生物科学部 教授 美谷島 克宏	食品中化合物に対する三次元培養組織を用いた安全性評価系の確立に向けた動物試験による安全性評価成績との比較検討	90
静岡県立大学薬学部 教授 黒川 洵子	食品・食品添加物の品質保証に関する薬学教育研究普及拡大のための調査研究	70

一般研究 17件 1,320万円



## 2: 課題研究

### 2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
日本医科大学微生物学・免疫学教室 講師 若林 あや子	ミョウバンによる腸管上皮損傷に伴う炎症・アレルギー誘導性損傷関連分子の放出の解析と免疫学的安全性評価の検討	100
島根大学医学部 講師 小谷 仁司	高齢マウスを用いた抗癌剤治療時におけるアルギニン摂取の重要性検証と体内動態・組織分布評価	120
東京理科大学薬学部 嘱託助教 大嶋 直浩	食品由来高極性成分の定量法の開発と血中動態解明への展開	70

### 2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
近畿厚生局健康福祉部医事課 上席薬事監視専門官 平原 嘉親	食品包装開封後における食品添加物の安定性に関する基礎的研究	70
新潟大学研究推進機構超域学術院 特任助教 筒浦 さとみ	米飯の食中毒菌による汚染量がグリシンの効果に与える影響及びグリシンと併用可能な微生物抑制法の探索	70

### 2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京農工大学大学院工学研究院 生体機能科学部門 助教 福谷 洋介	哺乳類嗅覚応答システムを模倣したフレーバー客観的評価技術開発	110
東京農工大学大学院工学研究院 生命機能科学部門 特任助教 辻本 恭	ミカン属植物に含まれるシネフリンおよび類縁アルカロイドの定量分析	70

### 2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
兵庫県立大学大学院生命科学研究科 助教 澤井 仁美	鉄欠乏症改善のための食品添加物の利用効果の検証とその作用機序の解明	120
武庫川女子大学生活環境学部 助教 中村 衣里	大豆タンパク質にアミノ酸栄養強化剤および増粘多糖類を添加した高齢者・病者向けプロテイン飲料の開発	80
高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科 准教授 秦 隆志	ファインバブルを用いた新たな食感デザインに関する研究	70

課題研究 10件 880万円  
合計 27件 2,200万円

## 令和元年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本食品衛生学会 公開シンポジウム 実行委員長 高野 伊知郎	2019年度日本食品衛生学会 公開シンポジウム テーマ「食品安全へのアプローチ〜リスクコミュニケーションとサンプリング」(仮)	25
信州大学 理事・副学長 中村 宗一郎	日本食品化学学会 第25回総会・学術大会	100

小 計 125万円

(後期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本ポリフェノール学会・日本カテキン学会・ International Conference on Polyphenols and Health 2019(ICPH2019) (甲南女子大学教授) 寺尾 純二	International Symposium on Current Topics of Dietary Polyphenols in Disease Prevention	15
特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) (東北大学・未来科学技術共同研究センター 教授) 宮澤 陽夫	第8回栄養とエイジング国際会議 「平均寿命と健康寿命が一致する社会の実現」	35
ビタミンE研究会 (愛媛大学教授) 長岡 伸一	第31回ビタミンE研究会	25
日本食品化学学会 (大阪市立大学大学院医学研究科教授) 鯛淵 英機	第35回食品化学シンポジウム 「食品のイノベーションとレギュレーションに関する諸課題について」	50

小 計 125万円

合 計 250万円

## 令和2年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
岐阜大学 教授 長岡 利	日本ポリフェノール学会 第14回学術集会	20
奈良先端科学技術大学院大学 教授 金谷 重彦	日本食品化学学会 第26回総会・学術大会	80

合 計 100万円

公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ [\(https://www.ffcr.or.jp/\)](https://www.ffcr.or.jp/)  
コンテンツ

- (1) 食品添加物関係情報
  - ①食品添加物リスト
    - 指定添加物リスト、既存添加物リスト
    - 安全性審査の手続きを経た遺伝子組換え添加物一覧
    - 食品添加物使用基準リスト
  - ②食品添加物の規格
    - 第9版 食品添加物公定書
    - 新・改正食品添加物基準
  - ③新食品添加物の指定
    - 食品添加物の指定及び使用基準改正に関する指針
    - 食品添加物指定等要請資料作成の手引き
    - 国際的に安全性が確認され、かつ汎用されている添加物の取扱いについて
    - 国際的に汎用されている香料の安全性評価の方法
  - ④食品添加物の安全性
    - 食品添加物のJECFAによる安全性評価
    - 既存添加物の安全性評価、食品添加物一日摂取量調査
  - ⑤外国の食品添加物
  - ⑥食品添加物の表示（消費者庁へのリンク）
  - ⑦参考図書
- (2) 残留農薬関係情報
  - ①残留農薬ポジティブリスト制度
  - ②基準値一覧表、食品分類表 等
  - ③抗生物質、合成抗菌剤
  - ④除外物質一覧表
  - ⑤試験法
  - ⑥食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果
- (3) 「容器・包装」「食品中の化学物質」関係資料
- (4) 研究助成成果報告
  - 公益財団法人日本食品化学研究振興財団研究成果報告
- (5) 厚生労働省食品化学情報
- (6) 食品安全委員会情報

## 令和元年度主要事業記録

年月日	主要事業記録
平成31年4月17日	第37回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成30年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他
令和元年5月16日	第11回定時評議員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成30年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・評議員、役員を選任に関する件、他
令和元年5月16日	第38回臨時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・代表理事の選任に関する件
令和元年5月20日	第26回研究助成金贈呈式（於：リーガロイヤルホテル）
令和元年5月28日	新規食品添加物2品目に係る指定要請に向けた調査研究を受託
令和元年7月1日	令和元年度（後期）シンポジウム開催等助成申請の受付（7月中）
令和元年8月30日	第21回選考委員会（書面表決） ・令和元年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
令和元年9月13日	第39回臨時理事会（書面表決） ・令和元年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
令和元年9月15日	令和2年度奨学助成申請の受付（10月31日まで）
令和元年11月15日	令和2年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付 （令和2年1月15日まで）
令和元年12月10日	第22回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・令和2年度奨学助成対象の選出に関する件
令和元年12月25日	第40回臨時理事会（書面表決） ・令和2年度奨学助成対象の決定に関する件 ・選考委員の選任に関する件
令和元年12月25日	研究成果報告書（第25回・平成30年度）刊行
令和2年1月22日	第41回臨時理事会（書面表決） ・選考委員の選任に関する件
令和2年3月10日	第23回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・令和2年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
令和2年3月17日	第42回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・令和2年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 ・令和2年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、選考委員の改選、他

## 組 織

1 役員		
理事長	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 会長兼社長
専務理事	入村 和子	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理事	安達 修二	京都先端医科大学バイオ環境学部食農学科 特任教授
〃	一色 賢司	一般財団法人 日本食品分析センター 学術顧問
〃	井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員
〃	神崎 浩	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
〃	黒川 達夫	日本OTC医薬品協会 理事長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 副社長
〃	清水 玲子	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役
〃	下村 講一郎	東洋大学 名誉教授
〃	伏木 亨	龍谷大学農学部 教授
監事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
〃	妙中 茂樹	妙中公認会計士事務所 公認会計士
2 評議員	浅井 以和夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員
〃	堤 康央	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	中江 大	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	中垣 俊郎	京都府立医科大学大学院医学研究科 教授
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 執行役員
〃	松浦 壽喜	武庫川女子大学生生活環境学部 教授
〃	山崎 裕康	神戸学院大学薬学部 教授
3 選考委員	伊藤 美千穂	京都大学大学院薬学研究科 准教授
〃	井部 明広	実践女子大学生生活科学部 教授
〃	今井田 克己	香川大学 理事・副学長
〃	梅村 隆志	ヤマザキ動物看護大学動物看護学部 教授
〃	小関 良宏	東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門 教授
〃	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 副所長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 誠	東京大学 名誉教授 東京農業大学 名誉教授
〃	堤 康央	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	中山 智紀	厚生労働省医薬・生活衛生局 食品基準審査課長
4 事務局	田邊 伸也	事務局長
〃	中村 明淑	
東京分室	高山 昌也	顧問
〃	鵜狩 真理子	